

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	211						
施策名	ひとを集める観光戦略の展開			施策の目的	● 国内（関東地方）・国外（アジア）からの観光客入込数及び観光客宿泊数の増加を図ります。 ● 市民のおもてなしの心を醸成し、観光客の受入体制を整備します。		
施策主管部長	産業文化スポーツ部長	施策幹事課長	観光推進課長		関係課	広報ブランド推進課、市民生活課、産業政策課、農政課、農山村振興課、文化推進課、スポーツ推進課、文化財課	

1. 進行管理

（1）指標の実績・考察

①中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値				目標値	最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	市の観光客入込数	千人	6,474	6,429	7,134	7,402	7,481	8,800	③目標値を下回った	回復基調にあるが、コロナ禍前の水準には戻らなかった。
b	市の観光客宿泊数	人	38,638	56,943	64,290	63,648	67,239	63,000	①目標値を上回った	市の観光宿泊者数は、堅調に増加している。
c	外国人宿泊数	人	354	521	963	1,782	2,180	1,300	①目標値を上回った	外国人宿泊者は、急激に増加している。
d	観光ボランティアガイド協会の登録人数	人	36	30	34	34	37	50	③目標値を下回った	会員数は増えているが、目標値には達しなかった。

②後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

対象		対象指標		単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)	
①	国内（関東地方）に居住する人	関東地方 1 都 6 県の人口		千人	43,535	43,527	43,567	43,510	43,500	43,450	43,430	43,400	
②	アジアの観光客	アジアからの観光客数		千人	3,001	19,984	29,752	30,000	31,000	32,000	33,000	34,000	
③	市民（市内事業所を含む）	市の人口（社人研推計）		人	115,700	114,695	113,498	112,515	111,388	110,515	109,641	108,768	
④	市有観光施設	市有観光施設数		箇所	14	14	12	12	13	13	13	13	
目的		成果指標		単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
・観光振興による消費活性化を図るため、観光客入込数及び観光客宿泊数を増加させます。 ・観光施設の適切な維持管理と「おもてなしの心」の醸成による観光客の受入れ体制を整備します。	①	市の観光客入込数	千人	目標値	8,500	8,600	8,700	8,800	8,900	9,000	9,500	10,000	
				実績値	6,429	7,134	7,402	7,482					
	②	市の観光客宿泊数	人	目標値	60,000	61,000	62,000	63,000	73,000	75,000	78,000	80,000	
				実績値	56,943	64,290	63,648	67,239					
	③	外国人宿泊数	人	目標値	1,000	1,100	1,200	1,300	1,900	2,000	2,100	2,200	
				実績値	521	963	1,782	2,180					
	④	観光ボランティアガイドの派遣人数（延べ人数）	人	目標値	－	－	－	135	140	145	150	155	
				実績値	124	126	118	149					

（2）基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・外国人宿泊者数が目標を上回るペースで増加している。円安による旅行コスト低下等が主要因と推察されるが、令和4年度から令和7年度まで訪日ムスリムインバウンド地域おこし協力隊を雇用して、ハラル対応インバウンド向け観光MAP作成、教育機関視察・教育旅行の受入れ、食を通じた地域のプロモーション、ムスリムフレンドリー佐野らーめんイベント等を行ってきた。
・フィルムコミッション事業を推進した。ロケ地マップを作成し、ロケ地の情報を発信したことでロケの誘致が促進された。

②計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

・スプリングフラワーフェスティバルにおけるかたがりの里の来場実績がコロナ禍前の水準に戻らない。カタクリの開花期間の短期化、キツネノカミソリによる株数減少、市外のカタクリ群生地増加等の要因が考えられる。キツネノカミソリの伐根等について早期着手したい。
・まちの駅ネットワークを構築しているが、市内のまちの駅数が年々減少している。令和7年度に行ったアンケートをもとにあり方について再考する必要がある。

（3）令和7年度行政経営方針の取組状況

①令和7年度行政経営方針

・観光消費額の増加を図るため、地域DMOと連携し、ナイトタイムエコミーにつながる事業を実施する。
・地域DMOを中心とし、市内観光事業者と連携した観光イベントの開催や飲食プランの提案等に取り組む。
・県や近隣市町、観光事業者や鉄道事業者等と連携し、林道を活用した広域的な観光PRに取り組む。
・地域おこし協力隊員や企業等と連携し、飲食店等の外国語対応やインバウンド向けにインフルエンサーを活用し、動画等を発信する。また、農泊や民泊等に協力してもらえる市民ネットワークの構築を他市の取組を参考に研究する。
・地域DMOがMICE事業を推進するための支援を行うとともに、各種大会の主催者に参加者や来場者向けの歓迎・サポートの提案を行う。
・フィルムコミッションのホームページの充実やSNSを活用した情報発信を行い、ロケの誘致及び観光誘客を図る。
・観光ボランティアガイドのスキルアップのため、オリジナルガイドや視察研修を行う。また、観光ボランティアガイドが活躍できる機会を提供していく。

②令和7年度行政経営方針の取組状況

・11月に「さのあかり」を2か所で延べ10日間実施した。来場者8,417人は過去最高
・ムスリムフレンドリー佐野らーめんの1日限定ショップを実施した。
・みどり市との協議会を発足し、双方の観光PR用ポスター・チラシを作製した。同市の草木湖まつりに出展したり、東武鉄道の協議会に相互参画したりして、広域的観光PRに取り組んだ。
・CLAIRと連携し、インバウンド向けの観光スポットやローカルグルメ等の紹介動画を公開した。
・地域DMOがコンベンション誘致推進のため、市場調査・分析を行った。
・フィルムコミッションとして17件のロケが行われた。
・観光ボランティアガイドについて、派遣人数は近年最多だったが、実施回数は平年並みだった。コロナ禍を経ての旅行形態の変化が主要因と思われる。

（4）環境変化や関係者の意見、要望等

・物価、人件費等の上昇により、イベント等の事業コストが著しい上昇傾向にある。
・どまんなかフェスタについては、この10年弱で出展者・来場者とも半減した。
・令和7年度実施の「さのあかり」において来場者にアンケートを行ったところ、満足度が非常に高かった（95%以上）。夜間イベントを契機とした宿泊や食事への関心も高い（85%以上）。参加したい夜のイベントに関して尋ねたところ「花火大会」「地元グルメ・夜市」「天体観察」など、夜の観光に関する高いニーズが確認できた。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

（1）課題

①地域DMOと連携した観光誘客の仕組みづくり
②県、近隣市町、関係団体等と連携した広域的な観光情報の発信
③インバウンド誘客のための受入体制の強化
④ロケの積極的な誘致及びロケ地巡りによる観光誘客
⑤観光ボランティアガイドの育成、活用等
⑥ナイトタイムエコミーの促進

【施策212より】
②近隣市町との連携による新たな観光資源の開発及び観光ルートの開発
⑦安全で安心して快適に利用できる観光施設の維持管理
⑦観光案内看板の整備
⑧みどり市と連携した林道作原沢入線の観光活用

（2）課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①地域DMOと連携し、マーケティング調査の結果を踏まえた効果的プロモーションを展開し、地元観光資源を生かす取組を行う。
②県、近隣市町、観光事業者、鉄道事業者等と連携し、広域的な観光PRに取り組む。JR両毛線沿線の協議会に新たに参画し、市内でのイベントを開催する。
③観光協会等と協力し、ムスリムフレンドリー店舗の拡大、ホストファミリーの拡大、多言語化表示等を進める。
④ロケの誘致及びロケ地巡りによる観光誘客を図るため、フィルムコミッションのホームページの内容充実やSNSを活用した情報発信を行う。
⑤観光ボランティアガイド養成講座を実施し、ガイドの育成及び協会の増員を図る。また、観光ボランティアガイドが活躍できる場を提供していく。
⑥ナイトタイムエコミーにつながる事業（さのあかり、花火大会等）を実施する。
⑦観光施設及び観光案内板の適切な修繕・更新を行う。
⑧みどり市とイベント等での相互乗り入れの活活化を図る。また、林道作原沢入線の展望台の設置工事を完了する。

（3）次年度(令和9年度)の取組(案)

①地元観光資源を活用し観光誘客を図るため、地域DMOと連携し、マーケティング調査の結果を踏まえた効果的プロモーションに取り組む。
②広域的な観光振興を図るため、県、近隣市町、観光事業者、鉄道事業者等と連携した催し等に取り組む。
③インバウンド誘客の充実を図るため、観光協会等と協力し、ムスリムフレンドリー店舗の拡大、ホストファミリーの拡大、多言語化表示等に取り組む。
④ロケの誘致及びロケ地巡りによる観光誘客を図るため、フィルムコミッションのホームページ・SNSの内容充実等に取り組む。
⑤観光客へのおもてなしを図るため、ガイドの育成、観光ボランティア協会会員の増員、観光ボランティアガイドが活躍できる場の拡大に取り組む。
⑥ナイトタイムエコミーの促進を図るため、高いニーズの見込まれるさのあかり、花火大会等の事業実施に取り組む。
⑦観光客の安全・安心な施設利用及び円滑な案内を図るため、老朽化した観光施設及び観光案内板について適宜修繕・更新に取り組む（観光案内板については、インバウンド向け外国語表記等含む。）。
⑧みどり市と持続的な連携を図るため、複数年に渡る事業又は継続的な事業の実施を検討する。

※重点取組は太字・下線で記載